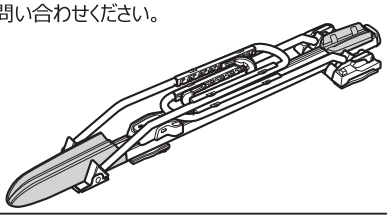
INA389 取扱説明書 JP

このたびは、INNO製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
- 本品をお使いになる前には、必ず本書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書をお読みになった後は、大切に保管してください。
- ご不明な点がございましたら、本書に記載のサービスセンターにお問い合わせください。



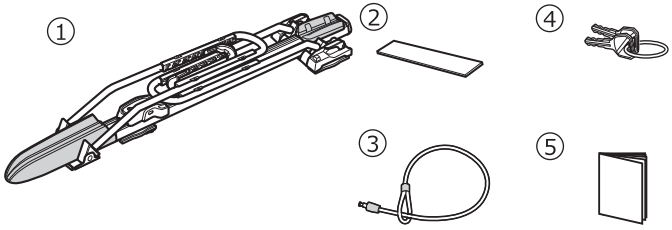
⚠警告 製品や積載物の脱落など、後続車や人を巻き込み、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

- 本品を装着するベースキャリアについては、十分な強度があることを確認し、確実に取付けてください。
- 走行前に、ボルト等にユルミがないか確認してください。
- 走行時は必ずキーをロックしてください。
- 本品を改造して使用しないでください。
- ベースキャリアの前後間隔を600～900mmに調整してください。
- サイクル以外の物を積載しないでください。

⚠注意 ケガを負ったり、製品・車両・積載物が損傷するおそれがあります。

- 本品は盗難防止ではありません。積載物を長時間放置しないでください。

部品内容

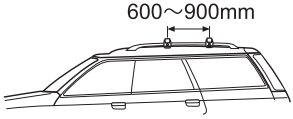


No.	部品	数量
①	本体	1
②	ゴムシート	2
③	ワイヤーロック	1
④	キー	2
⑤	取扱説明書（本書）	1

使用前の確認

1 使用前の確認（ベースキャリア）

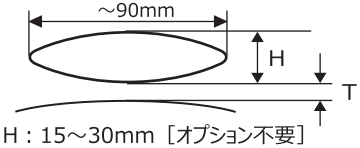
本品はINNOベースバー及び車両純正ベースキャリア（角型/クロスバー）に装着可能です。（※1）
ベースキャリアを取り付ける場合は、取扱説明書に従い確実に取り付けてください。
※1：純正ベースキャリアによってはISF727ロングボルト（別売）が必要な場合があります。



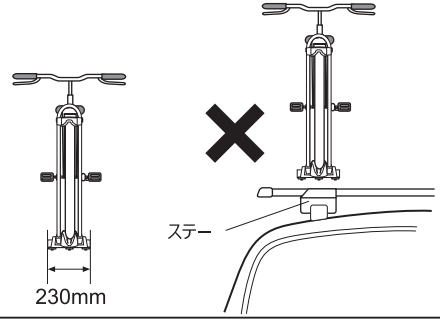
⚠警告

- 本品を装着するベースキャリアについては、十分な強度があることを車両又はベースキャリアの取扱説明書で確認してください。
  万一、ベースキャリアの強度が不十分な場合は、取付けしないでください。
- ベースキャリアの前後間隔は600～900mmです。
  前後間隔が調整できる場合は、なるべく広げた方が安定して積載できます。
- 本品の取付必要幅は、230mmです。但し、複数使用する場合は自転車の大きさ等で干渉する場合もあります。
- ステーをまたいでの取付けはできません。

■クロスバー（車両純正ベースキャリア）適合サイズ



H：15～30mm［オプション不要］
30～50mm［ISF727が必要］
T：屋根までの距離 ： 30mm以上



使用前の確認

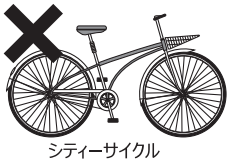
2 使用前の確認（サイクル）

適合サイクル

○

タイヤサイズ：20インチ～29インチ
ホイールベース：85cm～120cm
タイヤ幅：18C～2.7″
ディスクホイール装着車は横風の影響を受けやすいため、特に風の強い日（目安は風速１０m/S：高速道路の吹流しが水平）は走行しないでください。

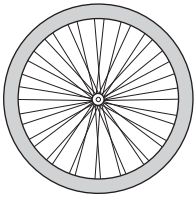
不適合サイクル

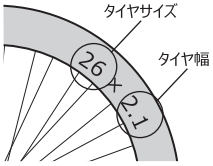

シティーサイクル

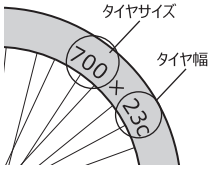

両立スタンド

タイヤに密着したフェンダー（泥除け）付き車
両立スタンド装着車
総重量23kg以上

タイヤサイズの確認方法


タイヤ



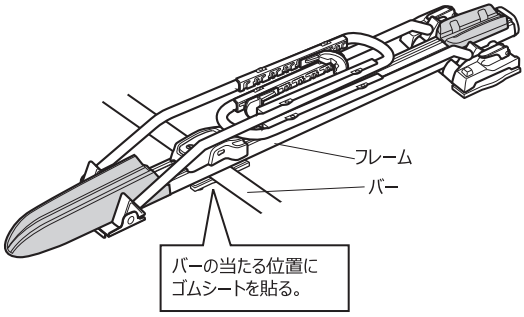


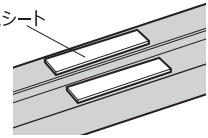
タイヤ側面に上記の様な記載があります。

取付け前の準備

1 取付け前の準備（INNOエアロベースバー、純正クロスバーに取付けの場合）

INNOエアロベースバー、純正クロスバーに取付ける場合は、付属のゴムシートを、フレーム裏側の純正クロスバーに当たる位置に貼る。



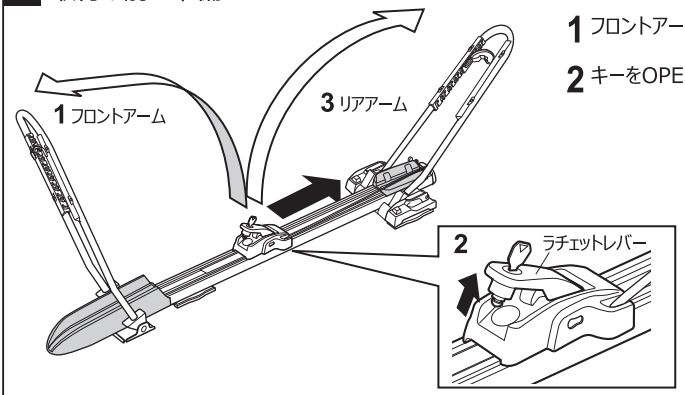


フレーム裏側

参考

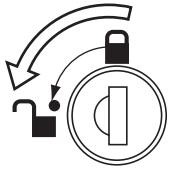
純正クロスバーとは、クルマに純正で装備されている楕円形のバーのことです。クルマに対して横方向に装備されています。

2 取付け前の準備



1 フロントアームを持ち上げるように広げる。

2 キーをOPEN方向に回し、ロックを解除する。



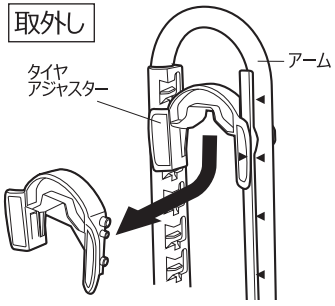
3 ラチェットレバーを持ち上げた状態で、リアアームを全開にする。

3 前後タイヤアジャスターとクレードルの調整

アタッチメントをベースキャリアに取り付ける前に安全な場所でタイヤアジャスターの位置を調整してください。積載する自転車を変更する場合は、タイヤアジャスターを再度調整してください。

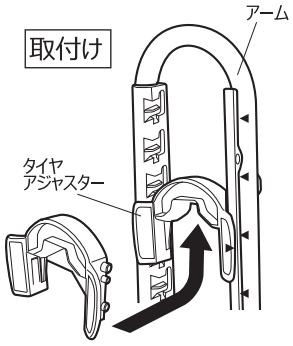
タイヤアジャスターの調整方法

取外し

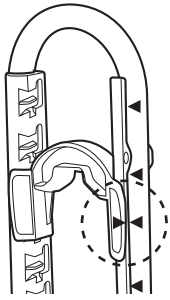


タイヤアジャスターを押し下げ
アームから取り外す。

取付け



タイヤアジャスターをアームに
はめた後、 押し上げ固定する。



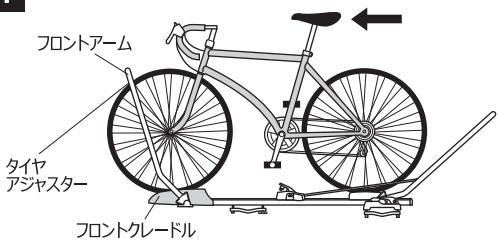
⚠注意

タイヤアジャスターとアームに付いている三角マーク（▲）が合っていることを確認してください。

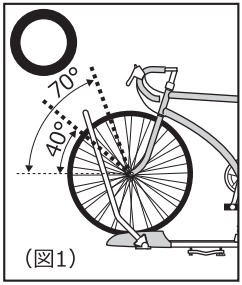
参考

タイヤアジャスターは三角マークの位置に（7段階）調整できます。

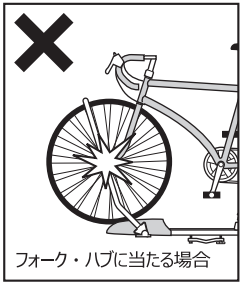
4



1 自転車の前輪をフロントアームの間に差込むように積む。
この時タイヤアジャスターがタイヤの40°～70°の範囲で、一番高い位置に当たるようタイヤアジャスターを調整してください。（図1）
アームが自転車のフォーク・ハブに当たらない位置にあることを確認してください。
29インチホイールには前後タイヤアジャスターを外して使用します。

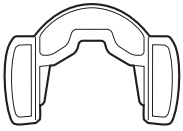


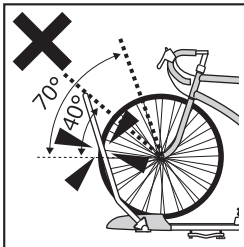
（図1）


フォーク・ハブに当たる場合

注意

取外したタイヤアジャスターは紛失しないよう保管してください。





指定範囲外での固定

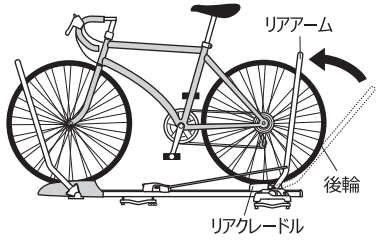
警告

脱落する恐れがあります。

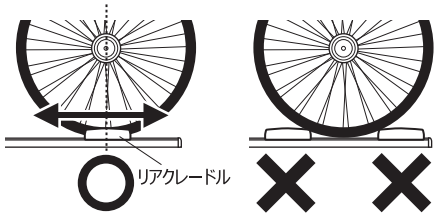
警告

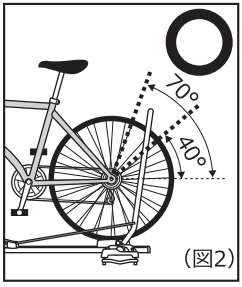
自転車のタイヤの空気圧が適正であることを確認してください。
タイヤの空気圧が低い場合、自転車を確実に積載できない場合があります。

5



2 リアクレードルを後輪の中心位置にする。



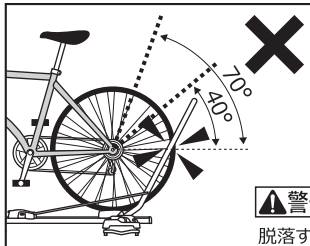


（図2）


フォーク・ハブに当たる場合

3 リアアームを内側に倒し込むようにし、自転車の後輪に押し当てる。
この時タイヤアジャスターが40°～70°の範囲で、一番高い位置に当たるようタイヤアジャスターを調整してください。（図2）
アームが自転車のフォーク・ハブに当たらない位置にあることを確認してください。

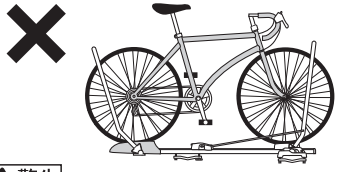
5



指定範囲外での固定

⚠警告

脱落する恐れがあります。

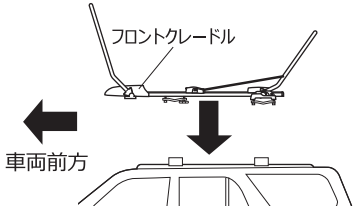


⚠警告

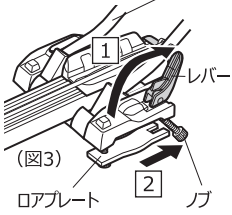
自転車の逆積み厳禁
フロントアーム側に必ず前輪がくるように積載してください。
逆に積載すると自転車をしっかり固定できません。
脱落する恐れがあります。

ベースキャリアへの取付方法

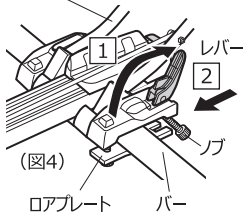
1



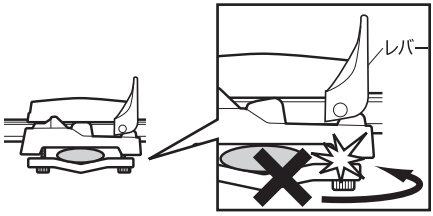
後側　　アームは全開

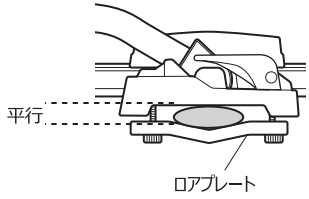


(図3)



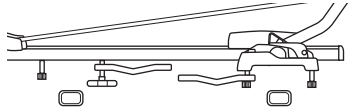
(図4)





(図5)

1 フロント、リアアームを全開にした状態でクルマのベースキャリアの上に仮置きする。
この時、前後取付ボルトがバーをまたぐ位置にする。



バー前側　　バー後側

2 後側の取付（後側から先に取付けます。）

- レバーを開け（左右両側）、ノブをロアプレートから外す。（図3）
- 両方のノブを十分に緩めた状態でバーの上に載せる。（図4）
- レバー側のノブをロアプレートに掛け、前後のノブを適度に締め込む。

⚠注意

レバーを開けたまま、ノブボルトを締めすぎないで下さい。緩まなくなる恐れがあります。

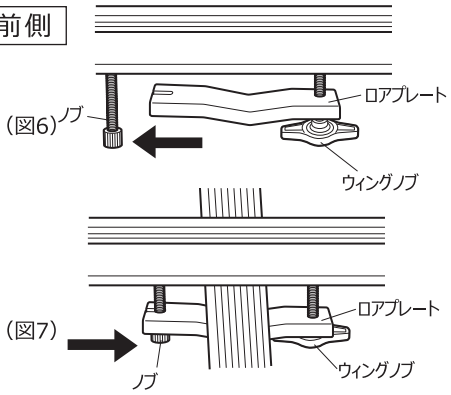
- レバーを締めてしっかり固定する。
ロアプレートが平行になるよう注意して取付ける。
締付けが緩かったり、きつかったりした場合は，
再度ノブの締付けを調整して、しっかり固定する。
（図5）

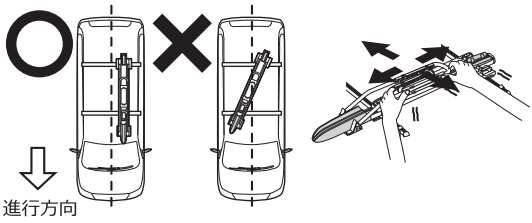
参考

リアアームを全開状態でレバーの締付け作業をしないとレバーを操作できません。

2

前側





3 前側の取付

- ウィングノブを緩め、反対側のノブをスライドしてロアプレートから外す。（図6）
- ウィングノブ、ノブを十分に緩めた状態で、バーの上に載せる。（図7）
- ノブをロアプレートに掛け、ウィングノブとノブを適度に締込む。
- ウィングノブを締付けてしっかり固定する。
  ロアプレートが平行になるよう注意して取付ける。
  締付けが緩かったり、きつかったりした場合は再度ノブを締付けを調整て、しっかり固定する。

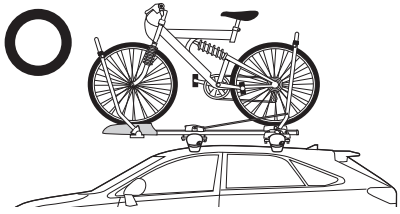
4 取付の確認

- クルマの進行方向に平行に取付けてあることを確認する。
- 本品を前後左右にゆすり、ノブやボルトにがたつきのないことを確認する。がたつきがある場合は、増締め
- する。
  各ロアプレートのセンターがベースキャリアのセンターと
- 一致していることを確認する。

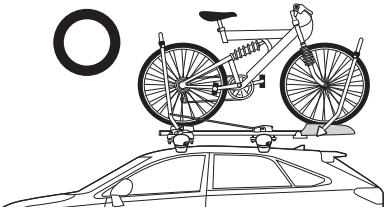
3

参考

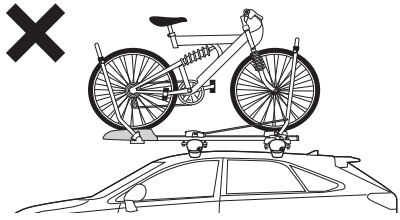
自転車を複数積載時、ハンドル等が干渉する場合は、アタッチメントを前後反対向きに取付ける事ができます。
その際、必ずフロントアーム側に前輪がくるように積載してください。



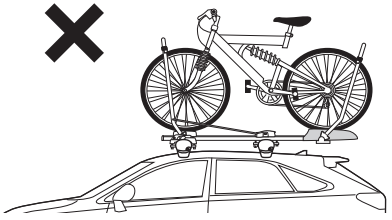
アタッチメント前向き＋自転車前向き



アタッチメント後向き＋自転車後向き



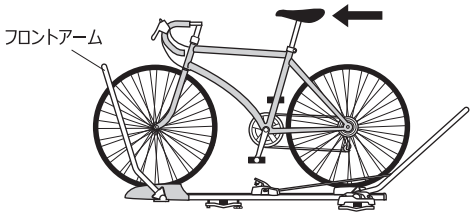
アタッチメント前向き＋自転車後向き



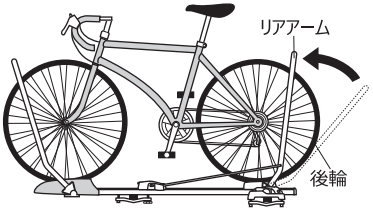
アタッチメント後向き＋自転車前向き

自転車の積載方法

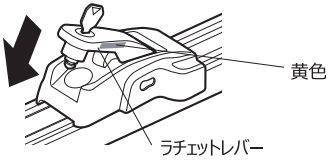
1 自転車の乗せ降ろしは水平な場所で行ってください。



1 自転車の前輪をフロントアームの間に差込むように積む。



2 リアアームを内側に倒し込むようにし、自転車の後輪に押し当てる。



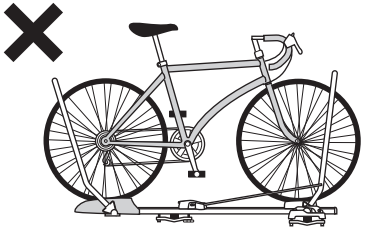
3 押し当てた後、ラチェットレバーを押し下げて、しっかり固定する。
この時、レバーがかたすぎたり、緩すぎる場合はレバーの位置かタイヤへの押し当てを調整して確実に固定する。
（キーを抜くとレバーが押しやすくなります。）



4 キーをロックする。

⚠警告

ラチェットレバーが確実に閉まり、側面の黄色いマークが隠れていることを確認してください。

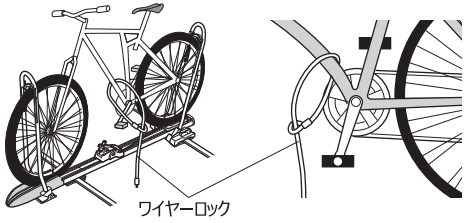


積載後の確認
積載後自転車を前後左右にゆすり、がたつきがないか確認します。

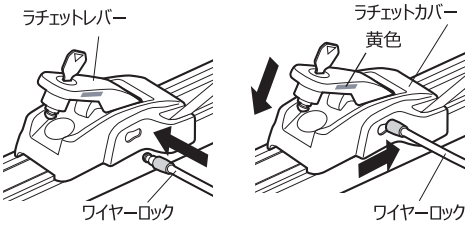
⚠警告

自転車の逆積み厳禁
フロントアーム側に必ず前輪がくるように積載してください。
逆に積載すると自転車をしっかり固定できません。
脱落する恐れがあります。

2 ワイヤーロックを使用した自転車本体のロック方法

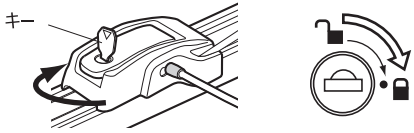


4 ワイヤーロックの輪の部分にワイヤーロックの先端をフレームに巻くように通す。



5 ラチェットレバーが開いた状態でワイヤーロックの先端をラチェットカバーに差し込み奥までスライドさせ、ラチェットレバーをしっかり締めこむ。

6 キーをロックする。



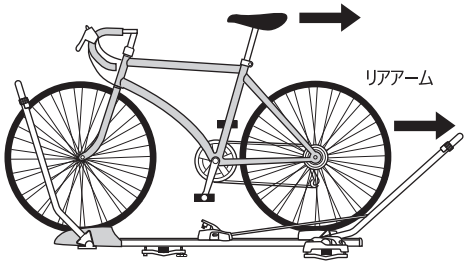
⚠警告

ラチェットレバーが確実に閉まり、側面の黄色いマークが隠れていることを確認してください。



自転車の降ろし方

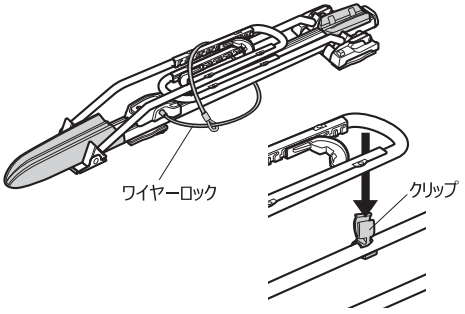
1 自転車の乗せ降ろしは水平な場所で行ってください。



1 ラチェットレバーのキーを🔓OPEN方向に回して、ラチェットレバーを持ち上げる。

2 ワイヤーロックを取外す。

3 リアアームを後方に全開にする。

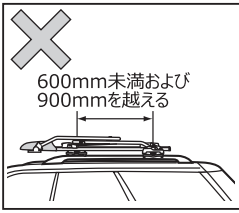


4 自転車を後方にずらしながら自転車を降ろす。
前輪がアームから外れない場合はタイヤを逆回転させると簡単に外れます。

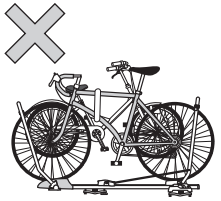
5 リアアームから先にたたみフロントアームをクリップにはめる。

6 自転車を降ろした後、ワイヤーロックをたたんだアームに巻きつけた後、ラチェットカバーでロックする。

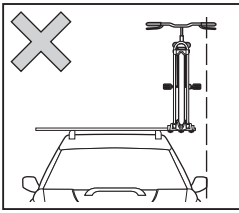
⚠ 警告



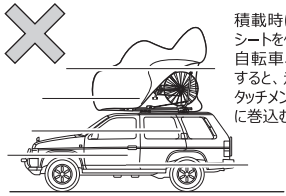
キャリアの前後間隔は、必ず600mm～900mmの範囲内で取付けてください。
キャリアの前後間隔が適正範囲を外れた状態でアタッチメントを取付けると、アタッチメントに無理な力がかかることによりアタッチメントが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



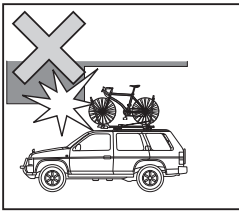
自転車以外のものを積載したり、1台のアタッチメントに2台以上の自転車を積載することはしないでください。
自転車以外のものを積載したり、定められた条件に合致しない自転車を積載したりすると、自転車やアタッチメントが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



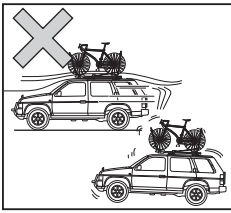
自転車のハンドルが車幅より外に出ないようにアタッチメントを取付けてください。
自転車のハンドルが車幅より外に出ている状態で自転車を積載すると、走行中に自転車が障害物にぶつかることによりアタッチメントや自転車が脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



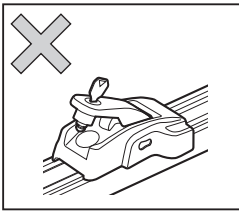
積載時には、自転車収納ケースや防水シートを使用しないでください。
自転車収納ケースや防水シートを使用すると、走行時の風圧により自転車やアタッチメントが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



走行前に必ず自転車積載状態での高さを把握し、その高さより低い駐車場やトンネル等には進入しないでください。
自転車積載状態での高さより低い駐車場やトンネルなどに進入すると、高さ制限バーやトンネルに自転車が当たり、自転車やアタッチメントが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



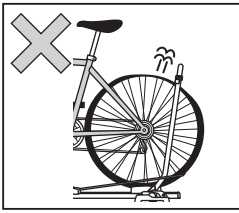
法定速度を守り、強風時や悪路では特に速度を落として走行してください。
法定速度を超えた連続高速走行や強風時の連続走行、悪路走行をすると、ノブナットやボルトのユルミにより自転車やアタッチメントが脱落し、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



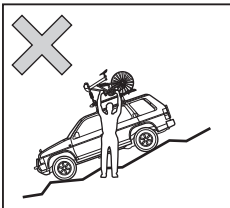
走行前には、必ずキーをロックしてください。
キーをロックしないと、何らかの外部の力が加わった場合、ラチェットレバーが外れ、後続車や人を事故に巻込むおそれがあります。



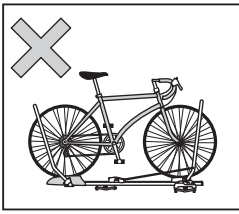
洗車機にかけるときは、アタッチメントやキャリアを外してください。誤ってアタッチメントやキャリアを取付けたままで洗車機にかけた場合は必ずアタッチメントやキャリアの取付状態を確認してください。
アタッチメントやキャリアを取付けたままで洗車機にかけると、アタッチメントやキャリア、車両が損傷するおそれがあります。



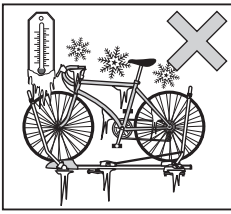
空気圧確認
パンクした場合は自転車の固定が十分にできません。速やかに適正空気圧にして使用してください。やむを得ず使用する場合は高速走行、悪路での使用を避けてください。自転車の固定が十分にできない場合はパンクした状態でタイヤアジャスターを適正な位置に固定してください。



自転車の積み下ろしは、安定した平らな場所で行ってください。
自転車の積み下ろしを斜面などの不安定な場所で行うと、自転車が落ちて怪我を負ったり自転車が損傷するおそれがあります。

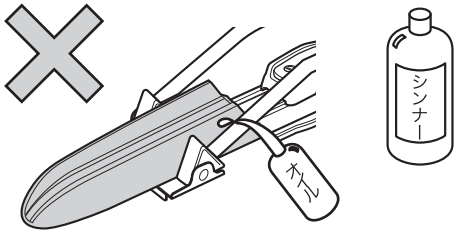


自転車の逆積み厳禁
フロントアーム側に必ず前輪がくるように積載してください。逆に積載すると自転車をしっかり固定できません。
脱落する恐れがあります。



凍結する状況下ではラチェット動作に支障が生じるおそれがあるので使用しないでください。

日常のお手入れ



1 水で泥汚れを落とす。

2 水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを取除く。

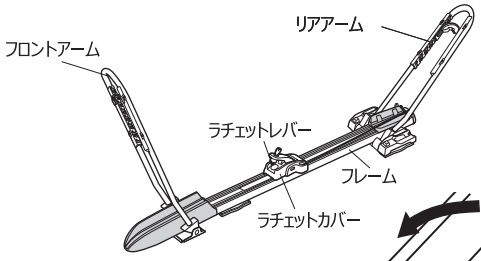
3 日陰でよく乾燥させる。

⚠注意

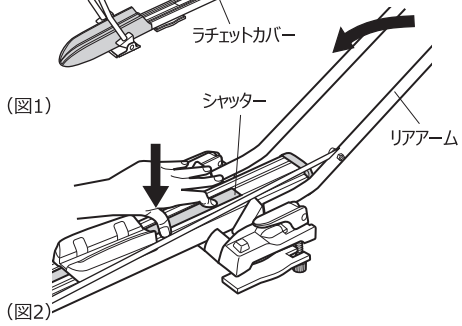
- シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- ネジやボルトへの給油はしないでください。

ラチェットレールのメンテナンス方法

本製品はラチェットレバーでアームを締め付ける構造になっているため、フレーム部分に波目のレールが配置されています。製品には砂や泥が積もらないような構造になっていますが、泥や砂の多いところに長時間放置された場合にはレールの目詰まりがないかの確認をしてください。



（図1）



（図2）

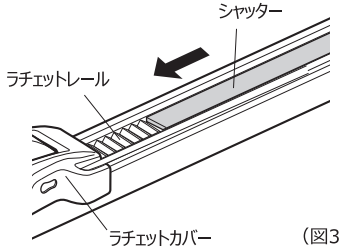
1 ラチェットレバーを持ち上げ、フロントアーム、リアアームを広げる。（図1）

2 シャッターの後端を押さえ、リアアームを閉じ、ラチェットカバーからシャッターを引き抜く。（図2）

3 リアアームを一旦閉じ、ラチェットレールを出す。

4 砂や泥などが詰まってないかを確認し、詰まっているようであれば取り除く。

5 シャッターの取り外しと逆の手順でラチェットカバーにはめ込む。（図3）

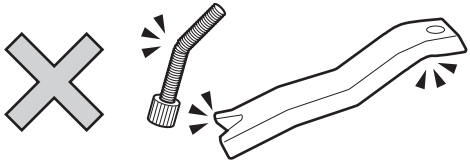


（図3）

保管方法

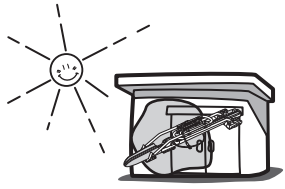
各部の点検をする

1 本品を清掃し、各部に異常がないかを点検する。変形、破損が見られた場合はご使用をやめ、交換してください。



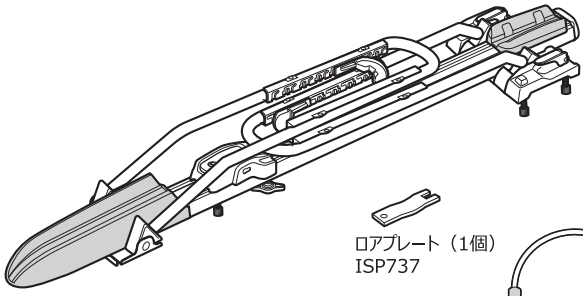
本品を保管する

1 直射日光の当たらない乾燥した屋内に本品を保管する。



補修パーツのご案内

本品には下記の純正補修パーツがあります。お求めの際は、キャリアを購入された販売店にパーツ品番またはパーツ名を指定してご注文ください。



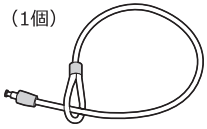


アームクリップ（1個）
ISP873

ロアプレート（1個）
ISP737



ノブボルト（1本）
ISP738

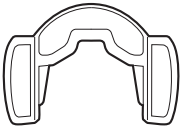


ワイヤーロック（1本）
ISP633



ウィングノブボルト（1本）
ISP872

タイヤアジャスター（1個）
ISP871





ゴムシート（2枚）
ISP733



キー　1本
※番号を確認して
ください。

参考

本品及び純正補修パーツの仕様と外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ご愛用者登録をしてアンケートに答えると抽選でプレゼントが当たる!

詳しくはWEBサイトをご覧ください。
https://www.carmate.co.jp/club/

INNO　品番：INA389

お問い合わせ先

商品についてのお問い合わせ・補修パーツのご注文は、下記サービスセンターへお問い合わせください。なお、誤った取付けや使用、改造しての使用、台風等の天災による事故の責任は一切負いかねます。製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

株式会社カーメイト
〒171-0051 東京都豊島区長崎 5-33-11

商品のお問い合わせ：カーメイトサービスセンター
TEL:03-5926-1212　FAX:03-5926-1218